

平成 24 年度

卒業生・修了生・事業所へのアンケート調査

報告書
(概要版)

三重大学高等教育創造開発センター
教育評価部門

第 I 部 卒業生と修了生

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを「三重大学卒業生（本アンケートでは、「卒業生」という）、もしくは三重大学大学院卒業生（本アンケートでは、「修了生」という）」を対象に教育満足度や自己評価、および教育ニーズ等を調査することにより、今後の三重大学の高等教育の改善・発展に資することを目的とした。

1.2 調査の設計

- (1) 調査対象 平成 23 年度本学卒業生と修了生
- (2) 調査時期 平成 25 年 2 月頃
- (3) 調査方法 卒業生/修了生が在学中に届け出ている保証人の住所宛てに、依頼文と調査用紙、返信用封筒を同封した封書を郵送した。回答後は調査用紙を返信用封筒に入れ、本学に返送するよう依頼した。
- (4) 回収数（率） 右表参照

表1.1.2 発送と回収について

	卒業生	修了生
発送数	1,377	445
回収数	241	64
回収率(%)	17.5%	14.4%

1.3 調査の内容

- I. 基本事項
- II. 三重大学/三重大学大学院の教育に対する満足度
- III. 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ
- IV. 大学/大学院生活で重点を置いたこと
- V. 社会生活の場で重要な力について
- VI. 三重大学/三重大学大学院の教育（・研究）で身についたこと
- VII. 意見と感想

1.4 分析対象者の属性（在学中の所属学部/研究科）

在学中に所属していた学部、および研究科ごとの分析対象者数を集計した。

表1.4 分析対象者数

	人 文	教 育	医	工	生 物 資 源	シ 地 域 イ ノ ベ ン ー	不 明	合 計
卒業生	51	56	26	55	50	-	3	241
修了生	2	7	7	29	13	2	4	64

2 三重大学/三重大学大学院の教育に対する満足度

2.1 三重大学の教育に対する満足度（卒業生）

三重大学の教育（16項目）について、満足している程度を「非常に不満」から「非常に満足」までの6段階で回答を求めた。以下に、全卒業生（241名）の平均値と標準偏差、満足群を示す。平均値と標準偏差は、満足の度合いを表す6段階評定において、「非常に不満」1点、「不満」2点、「やや不満」3点、「やや満足」4点、「満足」5点、「非常に満足」6点として算出した。満足群は、満足度の6段階のうち、「やや満足」、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した卒業生の割合である。

表2.1.1 全卒業生(241名)の三重大学の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)	
1	教育全般	4.3	0.9	83.3	
2	研究環境(文献、機器・研究水準など)	4.1	1.1	72.4	
3	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.0	1.1	68.6	
4	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.2	1.2	76.2	
5	学生生活に対するサポート	4.0	0.9	76.8	
6	共通教育の授業全般	4.0	1.0	75.7	
7	共通教育の語学系授業	3.8	1.0	69.1	
8	共通教育の情報系授業	3.8	1.0	64.4	
9	共通教育のキャリア系授業	3.6	1.0	58.8	
10	共通教育の保健体育関連授業	4.1	1.0	79.7	
11	幅広い教養を身につけられる教育の提供	4.1	1.0	76.2	
12	専門の授業全般	4.4	0.9	85.5	
13	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.1	1.1	75.9	
14	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	4.1	1.1	72.1	
※経験した人からの回答					
15	理系基礎関係授業	4.1	1.1	79.0	回答者数 (人) 124
16	卒業研究指導	4.8	1.1	86.3	191

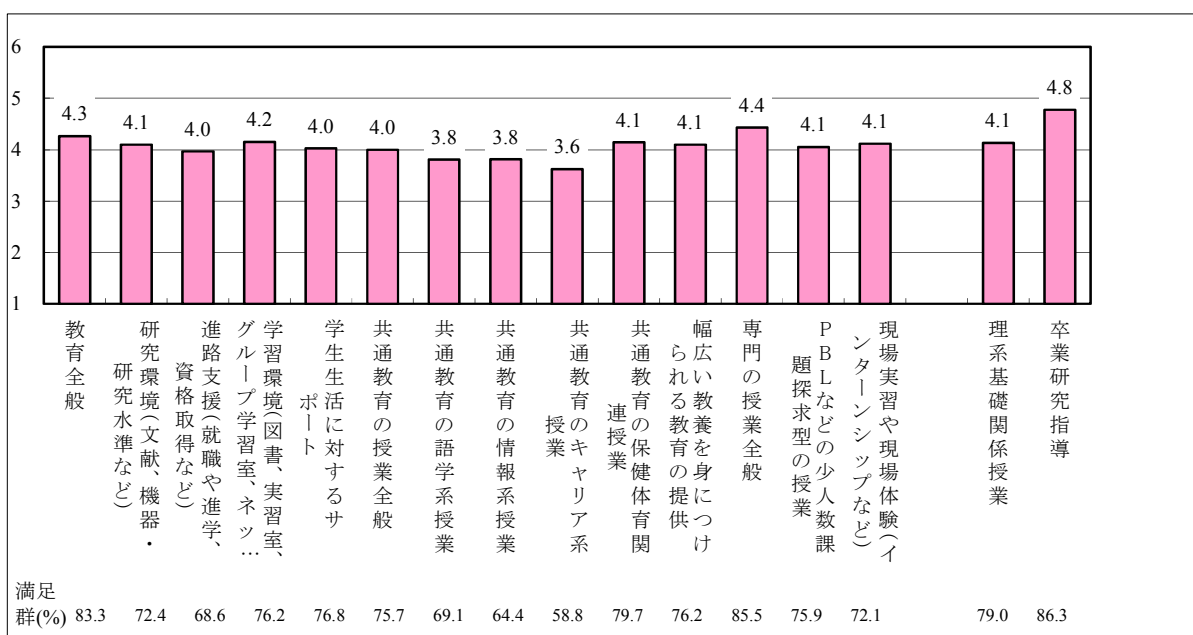


図2.1.1 全卒業生(241名)の三重大学の教育に対する満足度

その結果、「1. 教育全般」や「12. 専門の授業全般」、「16. 卒業研究指導」の平均値が非常に高く、80%以上の学生が満足していることが示された。全項目はどれも平均値が 3.5 点（中点）以上と満足度が高かったが、その中では、「9. 共通教育のキャリア系授業」の満足度がやや低かった。

2.2 三重大学大学院の教育に対する満足度（修了生）

三重大学大学院の教育（12 項目）について、全修了生（64 名）の平均値と標準偏差、満足群を示す（平均値と標準偏差、満足群については、前ページを参照）。

その結果、「8. 研究指導」や「9. 学位論文指導」について、平均値が 4.5 点（6 段階評定で「やや満足」～「満足」に間にあたる）以上と非常に高く、80%以上の修了生が満足していることが示された。全項目はどれも平均値が高かったが、その中では、「7. 現場実習や現場体験」の満足度がやや低かった。

表2.2 全修了生(64名)の三重大学大学院の教育に対する満足度

No.	項目	平均値	標準偏差	満足群(%)
1	教育全般	4.2	1.0	78.1
2	研究環境(文献、機器、研究水準など)	3.9	1.2	64.1
3	大学院の授業科目構成	4.0	0.9	76.2
4	大学院の授業	4.1	1.1	71.4
5	PBLなどの少人数課題探求型の授業	4.1	1.2	78.3
6	最先端の研究や高度専門知識の教授	4.3	1.1	73.0
7	現場実習や現場体験(インターンシップなど)	3.8	1.3	64.4
8	研究指導	4.5	1.2	84.4
9	学位論文指導	4.5	1.3	81.3
10	進路支援(就職や進学、資格取得など)	4.1	1.4	68.9
11	学習環境(図書、実習室、グループ学習室、ネットワーク環境など)	4.2	1.1	74.6
12	学生生活に対するサポート	3.9	1.0	76.2

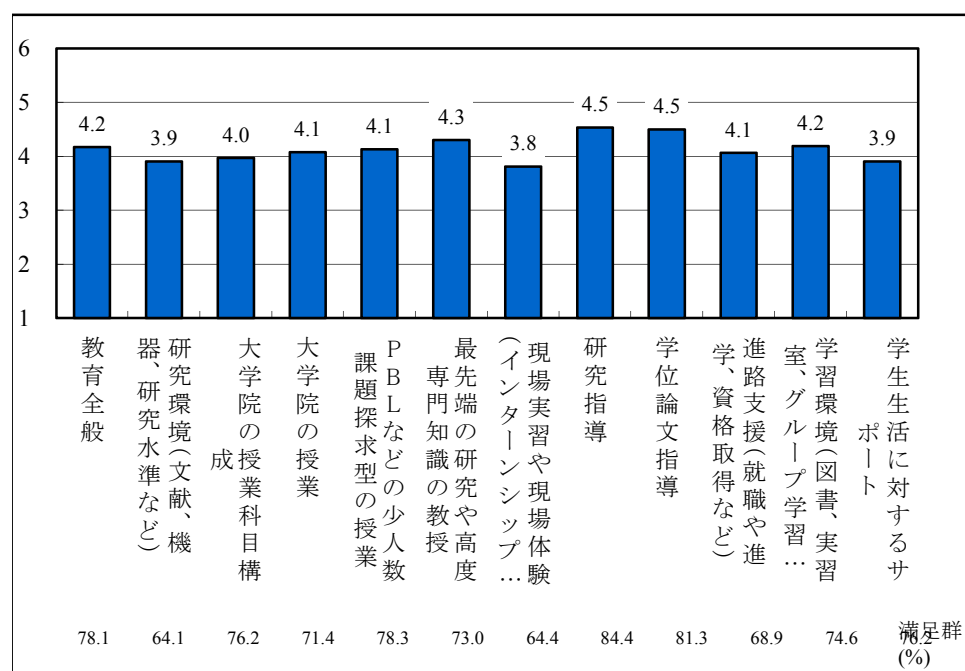


図2.2 全修了生(64名)の三重大学大学院の教育に対する満足度

3 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

卒業生と修了生に対して、三重大学/三重大学大学院ではどのような力の育成に重点を置いて教育すべきかをたずねた。回答は、13 個の選択肢の中から4つ選択するように求めた（選択肢は卒業生と修了生共通）。

3.1 三重大学の教育に対するニーズ（卒業生）

全卒業生（241名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「1. 広い視野で多面的に考える力」について、50%以上の卒業生が選択した。他にも「4. 人と協同して仕事をする力」や「9. 専門知識や技術」などを選択した卒業生が多かった。

3.2 三重大学大学院の教育に対するニーズ（修了生）

全修了生（64名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「1. 広い視野で多面的に考える力」について、50%以上の修了生が選択した。他にも「2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」や「9. 専門知識や技術」、「11 自立的に自らが決断する力」などを選択する修了生が多かった。

表3 三重大学/三重大学大学院に対する教育ニーズ

	全卒業生 (241名中)		全修了生 (64名中)	
	人	%	人	%
1 広い視野で多面的に考える力	121	50.2	32	50.0
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	86	35.7	30	46.9
3 外国語でコミュニケーションをする力	87	36.1	21	32.8
4 人と共同して仕事をする力	100	41.5	20	31.3
5 文章作成や文章表現の力	58	24.1	14	21.9
6 情報を収集して適切に処理する力	77	32.0	23	35.9
7 一般常識	63	26.1	6	9.4
8 基礎学力	51	21.2	13	20.3
9 専門知識や技術	103	42.7	29	45.3
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	46	19.1	14	21.9
11 自立的に自らが決断する力	87	36.1	30	46.9
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	74	30.7	22	34.4
13 その他	3	1.2	2	3.1

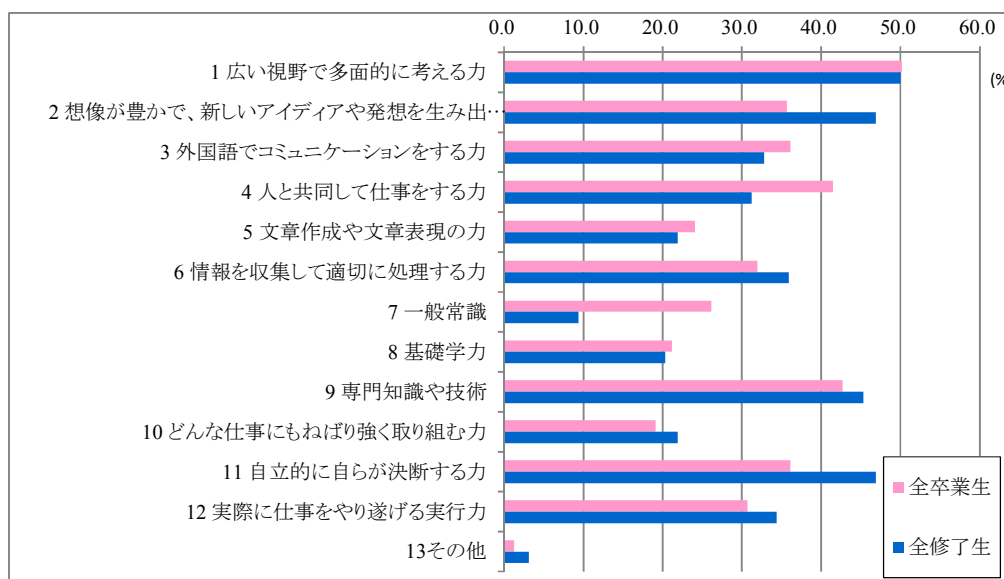


図3 三重大学/三重大学大学院に対する教育ニーズ

4 大学/大学院生活で重点を置いたこと

4.1 大学生活で重点を置いたこと（卒業生）

卒業生に対して、大学生活で特に重点を置いたものについてたずねた。回答は、21 個の選択肢の中から、2つ選択するように求めた。全卒業生（241 名）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

その結果、「2. 学部専門の授業」を選択する卒業生が最も多かった。その他には、「6. 卒業研究」や「13. クラブ・サークル」を選択する卒業生が多かった。

表4.1.1 大学生活で重点を置いたこと（全卒業生）

	全卒業生 (241名中)	
	人	%
1 共通教育の授業	6	2.5
2 学部専門の授業	101	41.9
3 語学系の授業	6	2.5
4 情報の授業	4	1.7
5 PBLに関連する授業	0	0.0
6 卒業研究	86	35.7
7 (研究室での)共同研究	6	2.5
8 ゼミ	35	14.5
9 実習	36	14.9
10 ボランティア	4	1.7
11 学部専攻を生かしたボランティア	7	2.9
12 留学	5	2.1
13 クラブ・サークル	87	36.1
14 アルバイト	34	14.1
15 学生自治活動	3	1.2
16 インターンシップ	5	2.1
17 就職活動	19	7.9
18 採用資格準備	14	5.8
19 専門学校	1	0.4
20 レジャー	14	5.8
21 その他	5	2.1

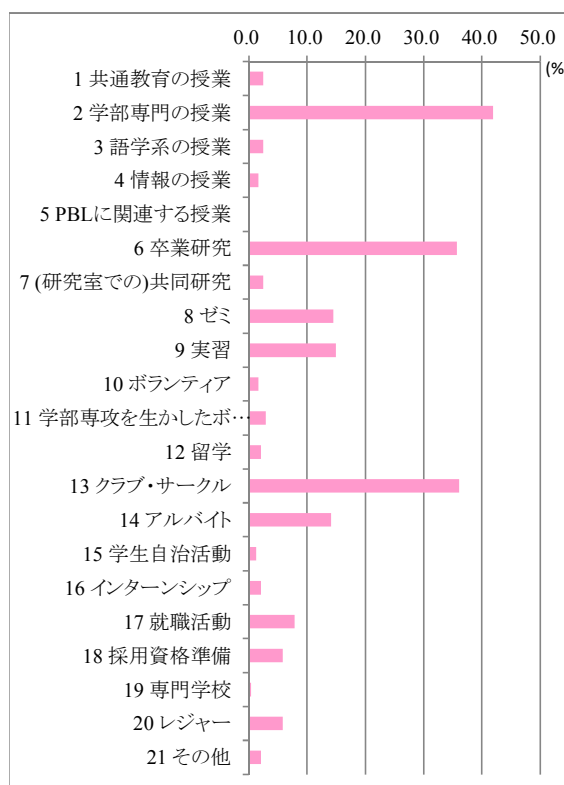


図4.1 大学生活で重点を置いたこと(全卒業生)

4.2 大学院生活で重点を置いたこと（修了生）

修了生に対して、大学院生活で特に重点を置いたものについてたずねた。回答は、18 個の選択肢の中から、2つ選択するように求めた。全修了生（64 名）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

その結果、「3. 学位論文」と「4. (研究室での) 共同研究」について、50%以上の修了生が選択した。回答はこの2項目に集中していることが示された。

表4.2 大学院生活で重点を置いたこと(全修了生)

	全修了生 (64名中)	
	人	%
1 大学院の授業	14	21.9
2 PBLに関連する授業	0	0.0
3 学位論文	33	51.6
4 (研究室での)共同研究	38	59.4
5 ゼミ	10	15.6
6 実習	2	3.1
7 ボランティア	1	1.6
8 学部専攻を生かしたボランティア	2	3.1
9 留学	2	3.1
10 クラブ・サークル	5	7.8
11 アルバイト	4	6.3
12 学生自治活動	0	0.0
13 インターンシップ	0	0.0
14 就職活動	12	18.8
15 採用資格準備	0	0.0
16 専門学校	0	0.0
17 レジャー	3	4.7
18 その他	2	3.1

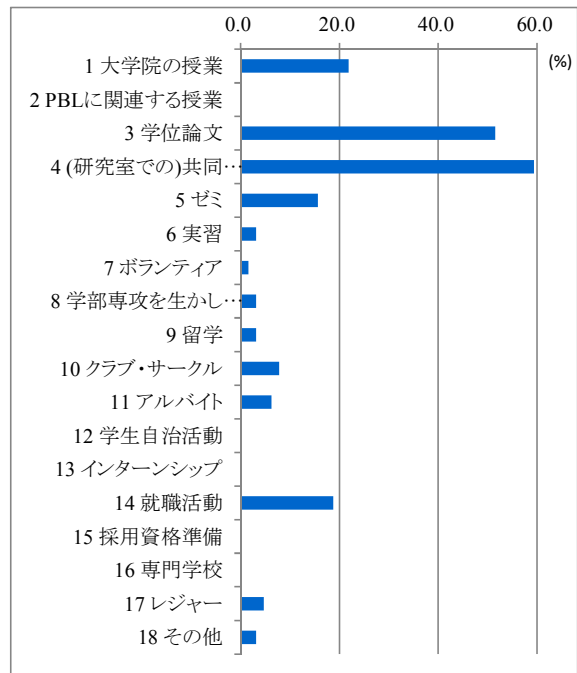


図4.2 大学院生活で重点を置いたこと(全修了生)

5 社会生活の場で重要な力について

卒業生と修了生に対して、大学卒業/大学院卒業後の社会生活の場で特に重要だと思う力についてたずねた。回答は、17 個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は卒業生と修了生共通）。

表5 社会生活の場で重要な力

	全卒業生 (241名中)		全修了生 (64名中)	
	人	%	人	%
1 情報収集する力	45	18.7	14	21.9
2 分析する力	47	19.5	20	31.3
3 構想する力	18	7.5	7	10.9
4 企画する力	18	7.5	8	12.5
5 判断する力	99	41.1	27	42.2
6 実行する力	100	41.5	28	43.8
7 人を理解する力	73	30.3	12	18.8
8 状況を理解する力	75	31.1	28	43.8
9 責任感	74	30.7	14	21.9
10 支援・指導する力	18	7.5	5	7.8
11 チームで働く力	69	28.6	19	29.7
12 職業的技能	20	8.3	8	12.5
13 忍耐力	69	28.6	14	21.9
14 社会人マナー	68	28.2	9	14.1
15 コミュニケーション力	145	60.2	38	59.4
16 切磋琢磨し合える力	6	2.5	3	4.7
17 その他	4	1.7	2	3.1

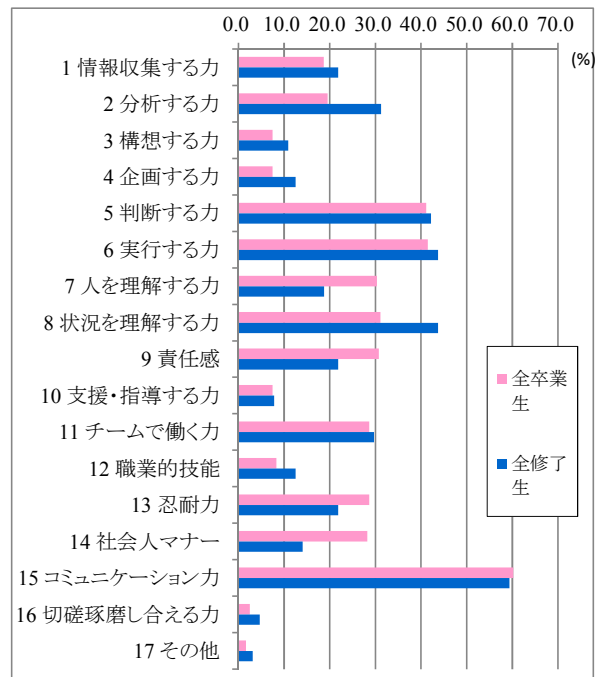


図5 社会生活の場で重要な力

5.1 社会生活の場で重要な力（卒業生）

全卒業生（241名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「15. コミュニケーション力」を選択した卒業生が最も多く、60%以上の卒業生が選択した。その他には、「5. 判断する力」や「6. 実行する力」を選択する卒業生が多かった。

5.2 社会生活の場で重要な力（修了生）

全修了生（64名）の回答について、各項目を選択した人数とその割合を算出した。その結果、「15. コミュニケーション力」を選択した修了生が最も多く、60%近くの修了生が選択した。その他には、「5. 判断する力」や「6. 実行する力」、「8. 状況を理解する力」を選択する修了生が多かった。

6 三重大学/三重大学大学院の教育・研究で身についたこと

三重大学/三重大学大学院の教育によって力が身についた程度を、「身につかなかった」から「十分身についた」の4段階で回答を求めた（28項目。卒業生と修了生共通）。以下に、全卒業生（241名）と全修了生（64名）の平均値と標準偏差、修得群を示す。平均値と標準偏差は、身についたと感じる度合いを表す4段階評定において「身につかなかった」1点、「あまり身につかなかった」2点、「ある程度身についた」3点、「十分身についた」4点として算出した。修得群は、4段階のうち「ある程度身についた」、「十分身についた」のいずれかに回答した卒業生/修了生の割合である。

6.1 三重大学の教育で身についたこと（卒業生）

「7. 人によっていろんな意見を持っているという多様性を理解する力」に対して、平均値が3点（4段階評定で「ある程度身についた」にあたる）以上と非常に高く、85%以上の卒業生が身についたと感じていることが示された。その他にも、「6. 事実や他者に対する誠実さ」や「8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力」、「13. 人と協同して仕事をする力」、「22. 専門知識や技術」については、平均値が高く、80%前後の卒業生が身についたと感じていることが示された。また、「23. 失敗してもなお再び挑戦しようとする力」から「28. 実際に仕事をやり遂げる実行力」までの6項目は、実際に仕事に取り組む力や遂行する力を表す項目であるが、どの項目も平均値が高く、70%以上の卒業生が身についたと感じていることが示された。

一方、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」については、全項目の中で平均値が最も低く、身についたと感じている卒業生は非常に少なかった。その他には、「5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」も、平均値がやや低く、身についたと感じた卒業生は半数以下であった。

6.2 三重大学大学院の教育・研究で身についたこと（修了生）

28項目中12項目の平均値が3点（4段階評定で「ある程度身についた」にあたる）以上と修了生が身についたと感じている項目が非常に多かった。特に、「2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力」や「22. 専門知識や技術」は、修得群が90%以上であった。その他にも、「6. 事実や他人に対する誠実さ」から「8. 他者に対する柔軟性や他者との調整力」までの3項目と「13. 人と協同して仕事をする力」、「23. 失敗しても直再び挑戦しようとする力」から「26. 意欲的に物事に取り組む力」までの4項目については、平均値と修得群の割合が高く、多くの修了生が身についたと感じていることが示された。

一方、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」については、全項目の中で平均値が最も低く、身についたと感じている修了生は非常に少なかった。その他には、「5. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」も、平均値がやや低く、身についたと感じた修了生は半数以下であった。この2項目の傾向は卒業生の結果も同様であった。

表6 三重大学/三重大学大学院の教育・研究で身についたこと

項目	卒業生(241名)			修了生(64名)		
	平均値	標準偏差	修得群(%)	平均値	標準偏差	修得群(%)
1 広い視野で多面的に考える力	2.8	0.6	70.3	2.9	0.6	78.1
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	2.9	0.7	75.3	3.2	0.6	92.2
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	2.7	0.7	68.2	2.9	0.6	82.5
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.8	0.8	65.3	3.0	0.8	76.6
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.4	0.7	41.4	2.5	0.7	48.4
6 事実や他者に対する誠実さ	3.0	0.7	79.9	3.0	0.7	84.4
7 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力	3.3	0.7	87.9	3.2	0.7	85.9
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.1	0.7	84.1	3.0	0.6	81.0
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.0	0.7	78.2	3.0	0.8	78.1
10 外国語でコミュニケーションをする力	1.9	0.9	23.5	1.8	0.9	23.4
11 プレゼンテーションをする力	2.7	0.8	62.4	3.0	0.7	79.7
12 ディスカッションをする力	2.7	0.8	61.4	2.7	0.6	68.8
13 人と協同して仕事をする力	3.0	0.7	79.4	3.0	0.7	82.8
14 文章作成や文章表現の力	2.8	0.7	69.7	2.8	0.6	73.4
15 情報を収集して適切に処理する力	2.9	0.6	75.1	2.9	0.6	82.8
16 情報機器を活用する力	2.7	0.8	61.4	2.9	0.7	71.9
17 社会、または技術の変化に対応する力	2.5	0.7	53.2	2.7	0.7	61.9
18 人間や社会についての理解・知識	2.8	0.7	69.6	2.7	0.8	68.3
19 自然科学に関する基礎知識	2.6	0.8	58.0	2.8	0.8	66.7
20 一般常識	2.7	0.7	65.1	2.6	0.6	55.6
21 基礎学力	2.8	0.6	74.5	2.7	0.7	63.5
22 専門知識や技術	3.0	0.7	83.2	3.1	0.5	93.8
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	2.8	0.8	70.1	3.1	0.6	85.9
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	2.9	0.8	74.8	3.2	0.7	85.9
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	2.9	0.8	72.3	3.0	0.8	79.7
26 意欲的に物事に取り組む力	2.9	0.7	74.4	3.0	0.6	82.8
27 自立的に自らが決断する力	2.8	0.8	72.3	2.8	0.7	78.1
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	2.9	0.7	77.3	3.0	0.6	84.4

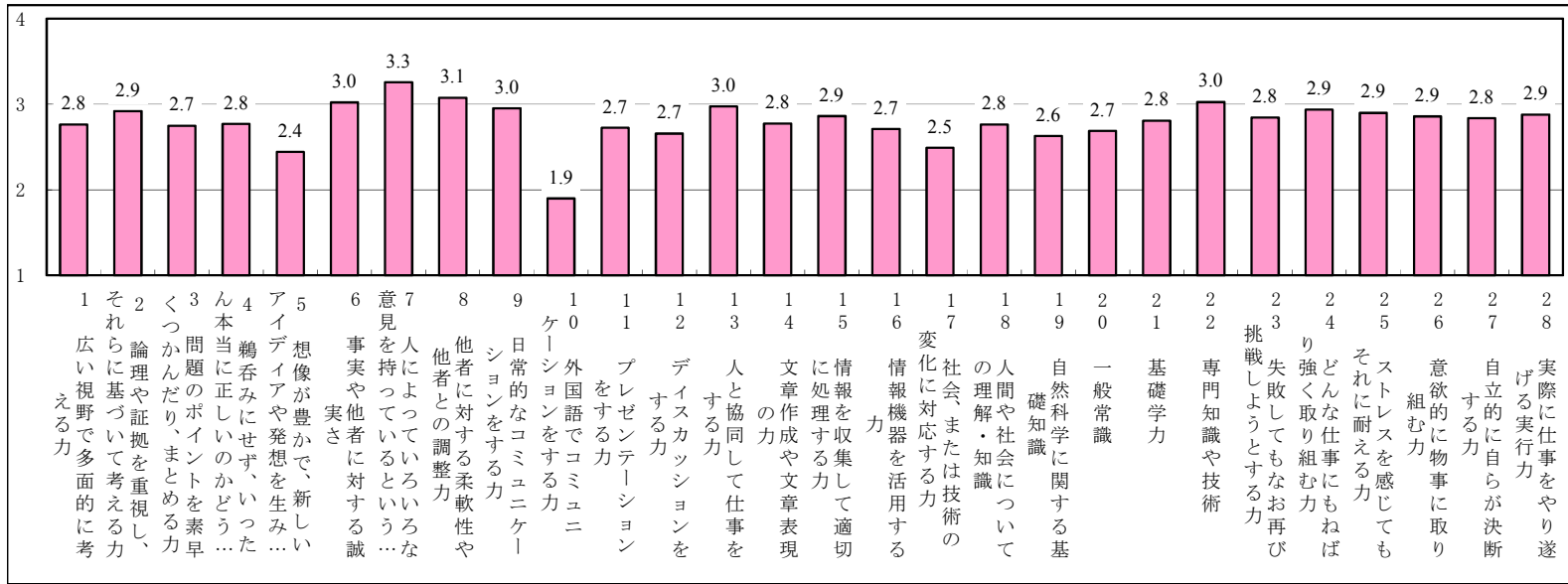


図6.1 全卒業生(241名)の身についたこと

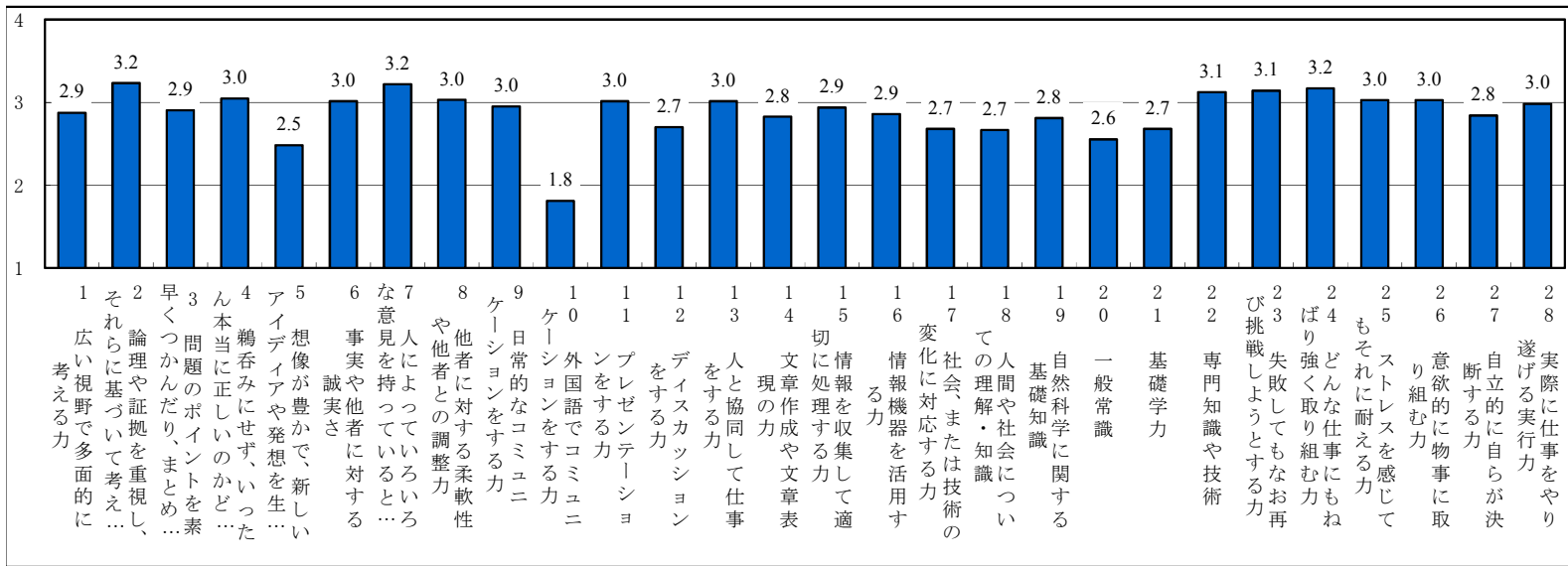


図6.2 全修了生(64名)の身についたこと

第Ⅱ部 事業所対象

1 調査の概要

1.1 調査の目的

三重大学が提供している教養教育・専門教育が、社会のニーズに相応しているかを「三重大学卒業生（本アンケートでは、「卒業生」という）、もしくは三重大学大学院卒業生（本アンケートでは、「修了生」という）が就職した事業所」を対象に卒業生や修了生に対する評価、および教育ニーズ等を調査することにより、今後の三重大学の高等教育の改善・発展に資することを目的とした。

1.2 調査の設計

(1) 調査対象 平成23年度本学卒業生と修了生が就職した事業所

(2) 調査時期 平成25年2月頃

(3) 調査方法 卒業生/修了生が就職した事業所宛てに、依頼文と卒業生/修了生リスト、調査用紙、返信用封筒を郵送した。卒業生/修了生リストには、その事業所に就職した卒業生/修了生の氏名と在学中に所属していた学部/研究科が書かれた。同一事業所に複数名が就職している場合、就職した人数分の調査用紙を封入した。回答後、調査用紙を信用封筒に入れ、本学に返送するよう依頼した。

(4) 回収数（率） 右表参照。

表1.1.2 発送と回収について

	（卒業生 事業所 就職先）		（修了生 事業所 就職先）	
	事業所数	アンケート数	事業所数	アンケート数
発送数	612	781	314	395
回収数	289	347	115	134
回収率(%)	47.2%	44.4%	36.6%	33.9%

1.3 調査の内容

I. 基本事項

II. 三重大学卒業生/三重大学大学院修了生に対する評価

III. 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

IV. 新人研修や新人教育について

V. 意見と感想

1.4 卒業生/修了生の所属していた学部/研究科

事業所が評価の対象とした卒業生が在学中に所属していた学部、もしくは修了生が所属していた研究科ごとに回答件数を集計した。

表1.4 卒業生/修了生が所属していた学部/研究科

	人 文	教 育	医	工	生 物 資 源	地 域 シ ョ ン ノ	不 明	合 計
卒業生	77	85	72	57	54	—	2	347
修了生	1	13	16	71	28	2	3	134

2 三重大学卒業生と三重大学大学院修了生に対する評価

事業所に就職した卒業生/修了生に力が身についている程度を、「身についていない」から「十分身についている」の4段階で回答を求めた(28項目。卒業生と修了生の「6. 三重大学/三重大学大学院の教育・研究で身についたこと」と共通)。4段階の他に「評価できない」という選択肢を設けた。卒業生に対する事業所の回答(347件)と修了生に対する事業所の回答(134件)について、平均値と標準偏差、充足群、「評価できない」と回答した事業所の件数を示す。平均値と標準偏差は、身についていると感じる度合いを表す4段階評定において「身についていない」1点、「あまり身についていない」2点、「ある程度身についている」3点、「十分身についている」4点として算出した。充足群は、4段階のうち「ある程度身についている」、「十分身についている」のいずれかに回答した事業所の割合である。

2.1 卒業生に対する事業所の評価

「6. 事実や他者に対する誠実さ」は、平均値が3.5点(4段階評定で「ある程度身についている」～「十分身についている」の間にあたる)以上と非常に高く、97%以上の事業所が身についていると感じていることが示された。その他にも平均値と充足群の割合が高い項目が多く、「7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力」や「9. 日常的なコミュニケーションをする力」、「13. 人と協同して仕事をする力」、「16. 情報機器を活用する力」、「20. 一般常識」、「21. 基礎学力」、「23. 失敗してもなお再び挑戦しようとする力」から「26. 意欲的に物事に取り組む力」までの4項目の評価が高かった。

一方、最も評価が低かったのは、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」であった。しかし、この項目に対して「評価できない」と回答した事業所は347件中183件と最も多く、回答のあった事業所の半数以上であった。

事業所からの評価と卒業生が教育で身についたことと比較すると、評価の傾向は似ていた。しかし、「16. 情報機器を活用する力」や「20. 一般常識」について、卒業生の自己評価に比べると、事業所は卒業生を高く評価していた。

2.2 修了生に対する事業所の評価

「6. 事実や他者に対する誠実さ」は、平均値が3.5点(4段階評定で「ある程度身についている」～「十分身についている」の間にあたる)、96%以上の事業所が身についていると感じていることが示された。その他「2. 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力」や「7. 人によっていろいろな意見を持っているという多様性を理解する力」、「9. 日常的なコミュニケーションをする力」、「13. 人と協同して仕事をする力」、「16. 情報機器を活用する力」、「19. 自然科学に関する基礎知識」、「20. 一般常識」、「21. 基礎学力」、「22. 専門知識や技術」、「23. 失敗してもなお再び挑戦しようとする力」、「24. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「26. 意欲的に物事に取り組む力」の評価が高かった。

一方、最も評価が低かったのは、「10. 外国語でコミュニケーションをする力」であった。しかし、この項目に対して「評価できない」と回答した事業所は134件中77件と最も多く、回答のあった事業所の半数以上であった。

事業所からの評価と修了生が教育・研究で身についたことと比較すると、評価の傾向は似ていた。しかし、「16. 情報機器を活用する力」や「20. 一般常識」、「21. 基礎学力」について、修了生の自己評価と比べると、事業所は修了生を高く評価していた。

表2 事業所からの卒業生/修了生に対する評価

項目	卒業生(評価対象者)				修了生(評価対象者)			
	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価 できない (347件中)	平均値	標準偏差	充足群(%)	評価 できない (134件中)
1 広い視野で多面的に考える力	3.0	0.7	80.1	13	2.9	0.7	74.0	4
2 論理や証拠を重視し、それらに基づいて考える力	3.1	0.6	86.1	14	3.2	0.6	88.4	2
3 問題のポイントを素早くつかんだり、まとめる力	3.0	0.7	82.7	8	3.0	0.8	79.2	2
4 鵜呑みにせず、いったん本当に正しいのかどうかを疑ってみる力	2.9	0.7	76.5	14	3.0	0.7	77.3	4
5 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	2.8	0.7	66.3	30	2.8	0.7	69.0	15
6 事実や他者に対する誠実さ	3.5	0.6	97.0	4	3.5	0.6	96.2	1
7 人によって異なるような意見を持っているという多様性を理解する力	3.2	0.6	90.9	9	3.2	0.6	89.1	4
8 他者に対する柔軟性や他者との調整力	3.2	0.7	83.1	7	3.1	0.7	79.4	2
9 日常的なコミュニケーションをする力	3.3	0.7	88.2	1	3.3	0.7	89.3	2
10 外国語でコミュニケーションをする力	2.2	0.8	34.9	183	2.5	1.0	49.1	77
11 プレゼンテーションをする力	2.9	0.7	75.7	62	2.9	0.7	73.5	19
12 ディスカッションをする力	2.9	0.7	74.9	26	2.9	0.7	71.0	8
13 人と協同して仕事をする力	3.3	0.6	93.1	7	3.2	0.7	89.3	2
14 文章作成や文章表現の力	3.1	0.6	88.2	16	3.0	0.7	76.2	11
15 情報を収集して適切に処理する力	3.0	0.6	84.8	16	3.1	0.6	84.9	6
16 情報機器を活用する力	3.3	0.6	93.6	25	3.4	0.6	93.4	11
17 社会、または技術の変化に対応する力	3.0	0.6	85.8	50	3.1	0.6	84.6	28
18 人間や社会についての理解・知識	3.0	0.6	87.2	33	3.1	0.6	86.4	13
19 自然科学に関する基礎知識	3.1	0.6	89.6	105	3.3	0.5	96.0	31
20 一般常識	3.2	0.6	91.6	6	3.3	0.5	96.9	5
21 基礎学力	3.4	0.5	96.9	12	3.5	0.6	95.3	4
22 専門知識や技術	3.0	0.7	79.7	43	3.2	0.7	84.3	11
23 失敗してもなお再び挑戦しようとする力	3.2	0.6	91.3	18	3.2	0.7	89.1	12
24 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	3.3	0.6	92.4	10	3.2	0.6	91.4	5
25 ストレスを感じてもそれに耐える力	3.2	0.6	91.6	16	3.1	0.7	86.1	18
26 意欲的に物事に取り組む力	3.3	0.6	91.0	6	3.2	0.6	90.1	2
27 自立的に自らが決断する力	2.9	0.7	73.8	21	2.9	0.6	74.2	8
28 実際に仕事をやり遂げる実行力	3.2	0.6	89.8	14	3.1	0.7	86.3	9

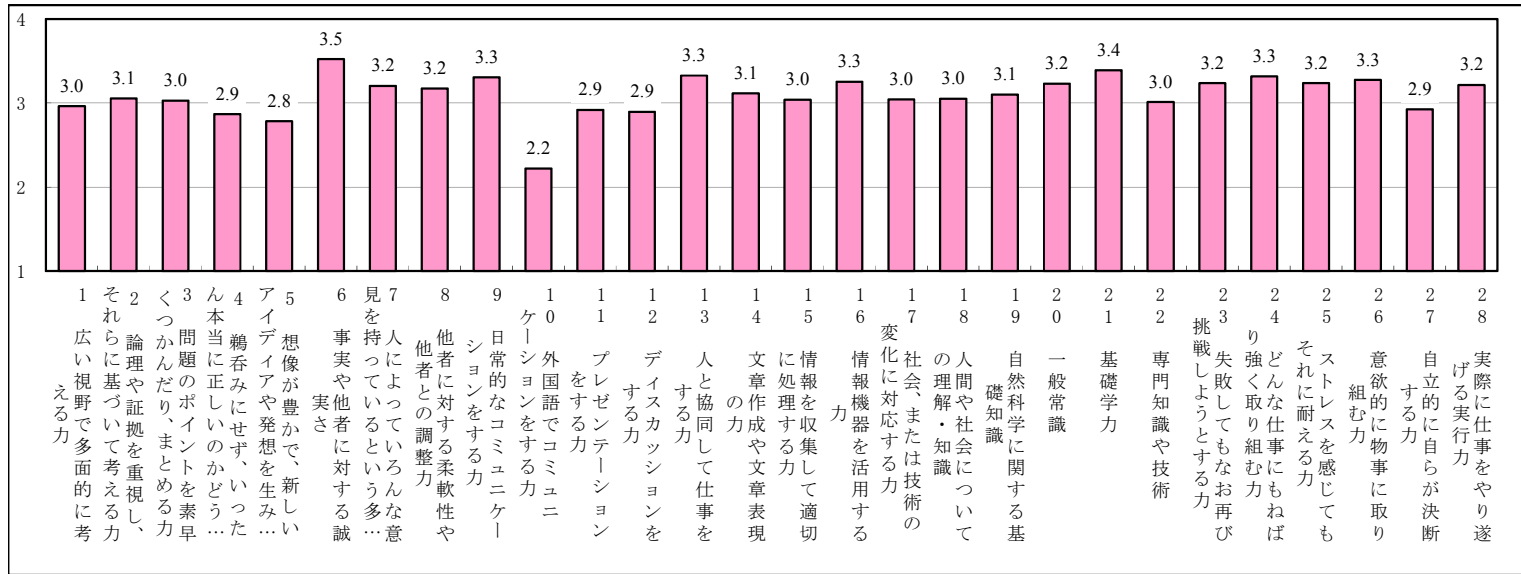


図2.1 卒業生に対する事業所の評価(347件)

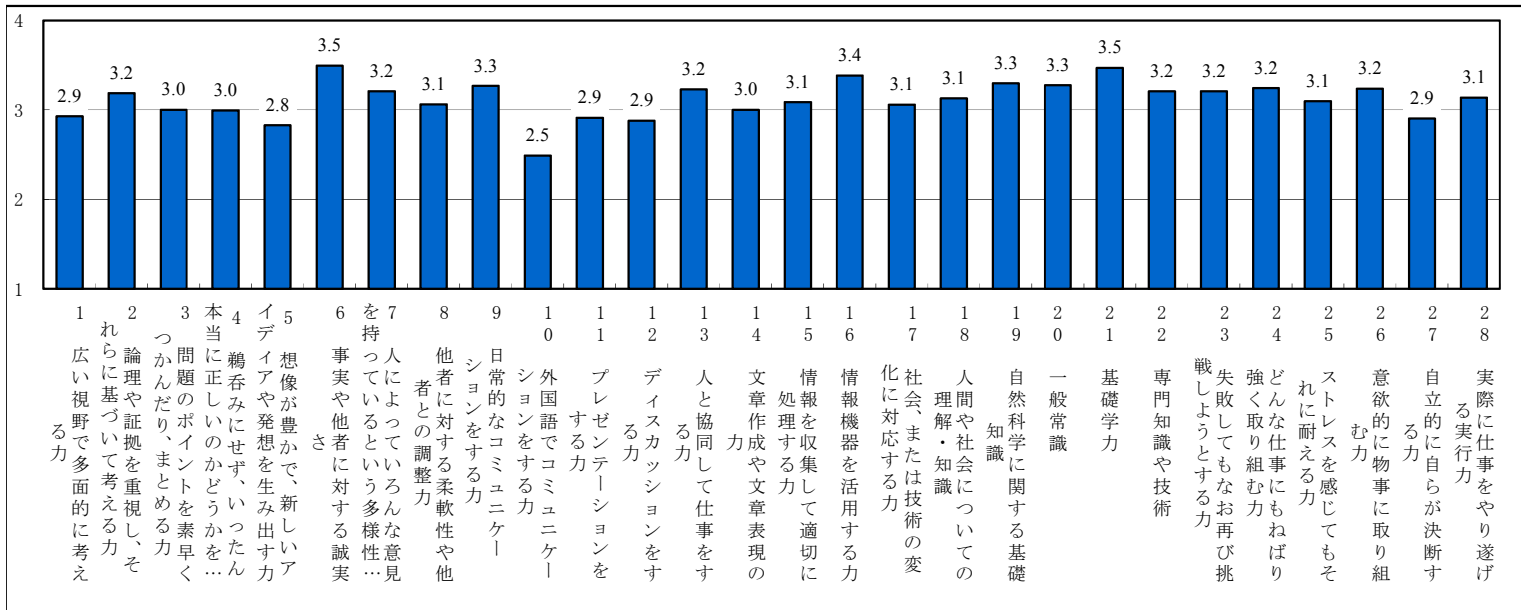


図2.2 修了生に対する事業所の評価(134件)

3 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

事業所に対して、三重大学/三重大学大学院の教育に期待する力をたずねた。回答は、12個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は、卒業生と修了生の「3. 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ」と共通）。全事業所の回答（481件）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

その結果、「4. 人と共同して仕事をする力」について、60%以上の事業所が選択した。その他にも、「1. 広い視野で多面的に考える力」や「2. 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力」、「10. どんな仕事にもねばり強く取り組む力」、「12. 実際に仕事をやり遂げる実行力」などを選択した事業所が多かった。

表3 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

	アンケート 481件中	
	件数	%
1 広い視野で多面的に考える力	288	59.9
2 想像が豊かで、新しいアイデアや発想を生み出す力	202	42.0
3 外国語でコミュニケーションをする力	40	8.3
4 人と共同して仕事をする力	309	64.2
5 文章作成や文章表現の力	43	8.9
6 情報を収集して適切に処理する力	104	21.6
7 一般常識	98	20.4
8 基礎学力	52	10.8
9 専門知識や技術	104	21.6
10 どんな仕事にもねばり強く取り組む力	256	53.2
11 自立的に自らが決断する力	146	30.4
12 実際に仕事をやり遂げる実行力	229	47.6
13 その他	9	1.9

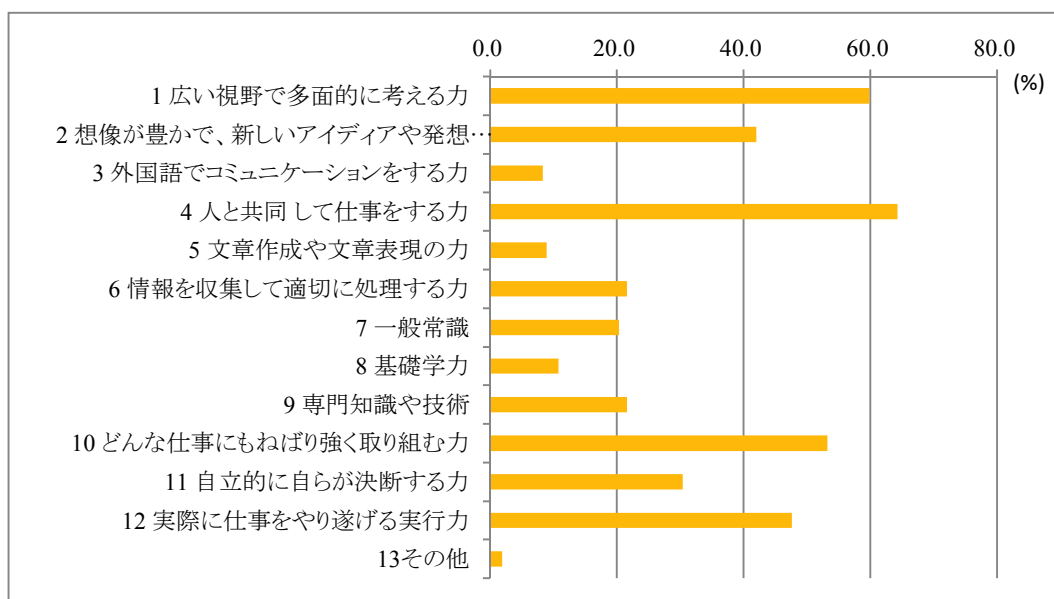


図3 三重大学/三重大学大学院の教育に対するニーズ

4 新人研修や新人教育について

事業所に対して、新人研修や新人教育を行う際に重要視している力をたずねた。回答は、17個の選択肢の中から、4つ選択するように求めた（選択肢は、卒業生と修了生の「5. 社会生活の場で重要な力について」と共通）。全事業所の回答（481件）のうち、各項目を選択した人数とその割合を算出した。

その結果、「15. コミュニケーション力」について、60%以上の事業所が選択した。その他にも、「9. 責任感」や「11. チームで働く力」を選択した事業所が多かった。

表4 新人研修や新人教育で重要視している力

	アンケート 481件中	
	件数	%
1 情報収集する力	53	11.0
2 分析する力	72	15.0
3 構想する力	32	6.7
4 企画する力	52	10.8
5 判断する力	106	22.0
6 実行する力	172	35.8
7 人を理解する力	145	30.1
8 状況を理解する力	93	19.3
9 責任感	212	44.1
10 支援・指導する力	47	9.8
11 チームで働く力	276	57.4
12 職能	48	10.0
13 忍耐力	50	10.4
14 社会人マナー	172	35.8
15 コミュニケーション力	290	60.3
16 切磋琢磨し合える力	25	5.2
17 その他	14	2.9

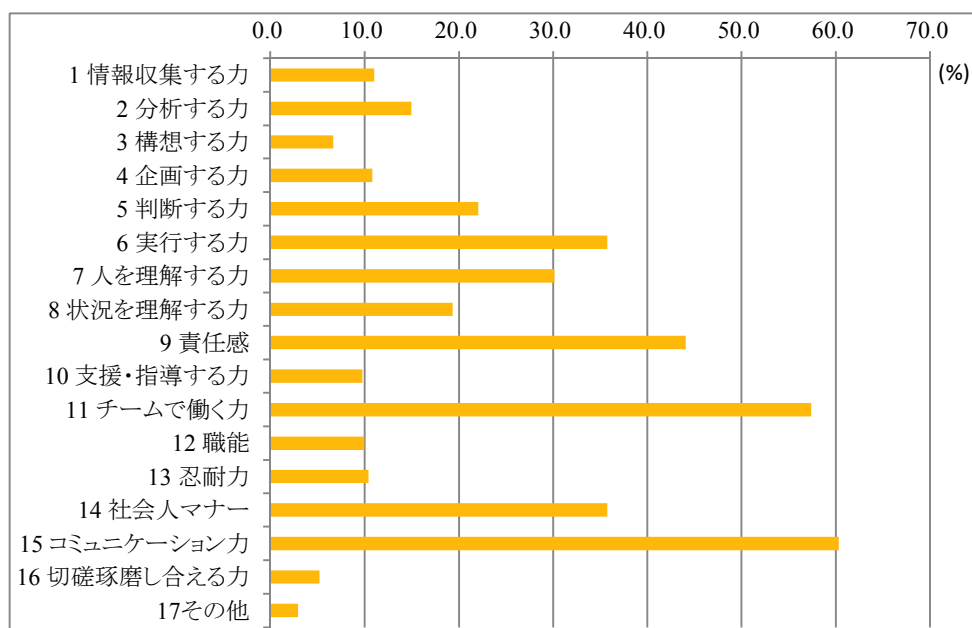


図4 新人研修や新人教育で重要視している力